

於福小だより

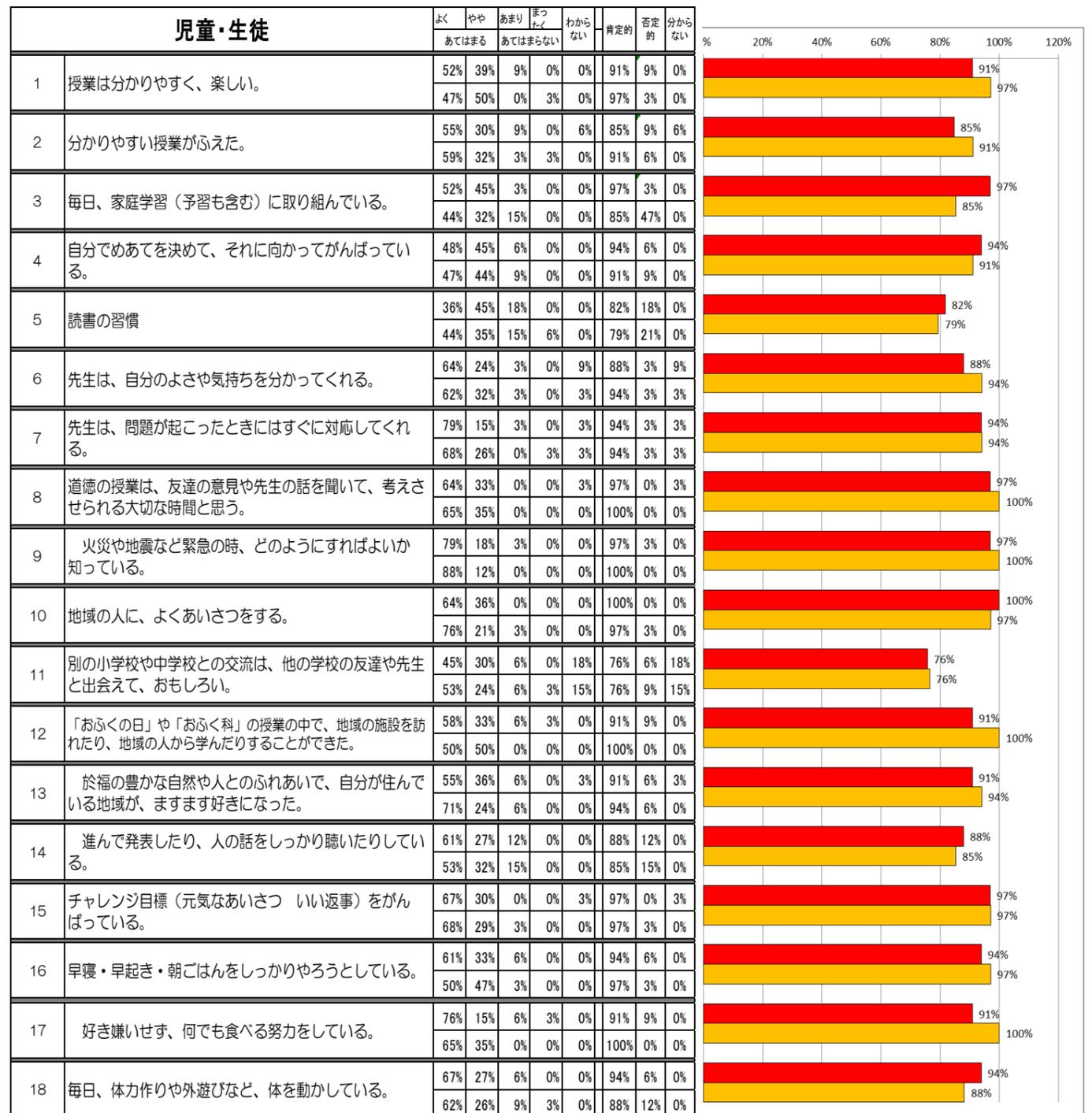
平成29年度 2月臨時号
美祢市立於福小学校

よりよい於福小学校づくりのために

本年度を振り返って

おいそがしい中、2度目の学校評価にご協力有り難うございました。9月の学校評価の結果を受けて、全教職員で改善点について話し合い、協働歩調で取り組んでまいりました。今回の結果は、2月22日（木）の小中合同拡大大学校運営協議会で地域の方にも報告し、小中学校全教職員と学校運営協議会委員さんを交えて、反省と来年度へ向けての取組の話し合いの場をもちます。9月との変化と特徴的なことを保護者の皆様にご報告致します。

1 児童の結果



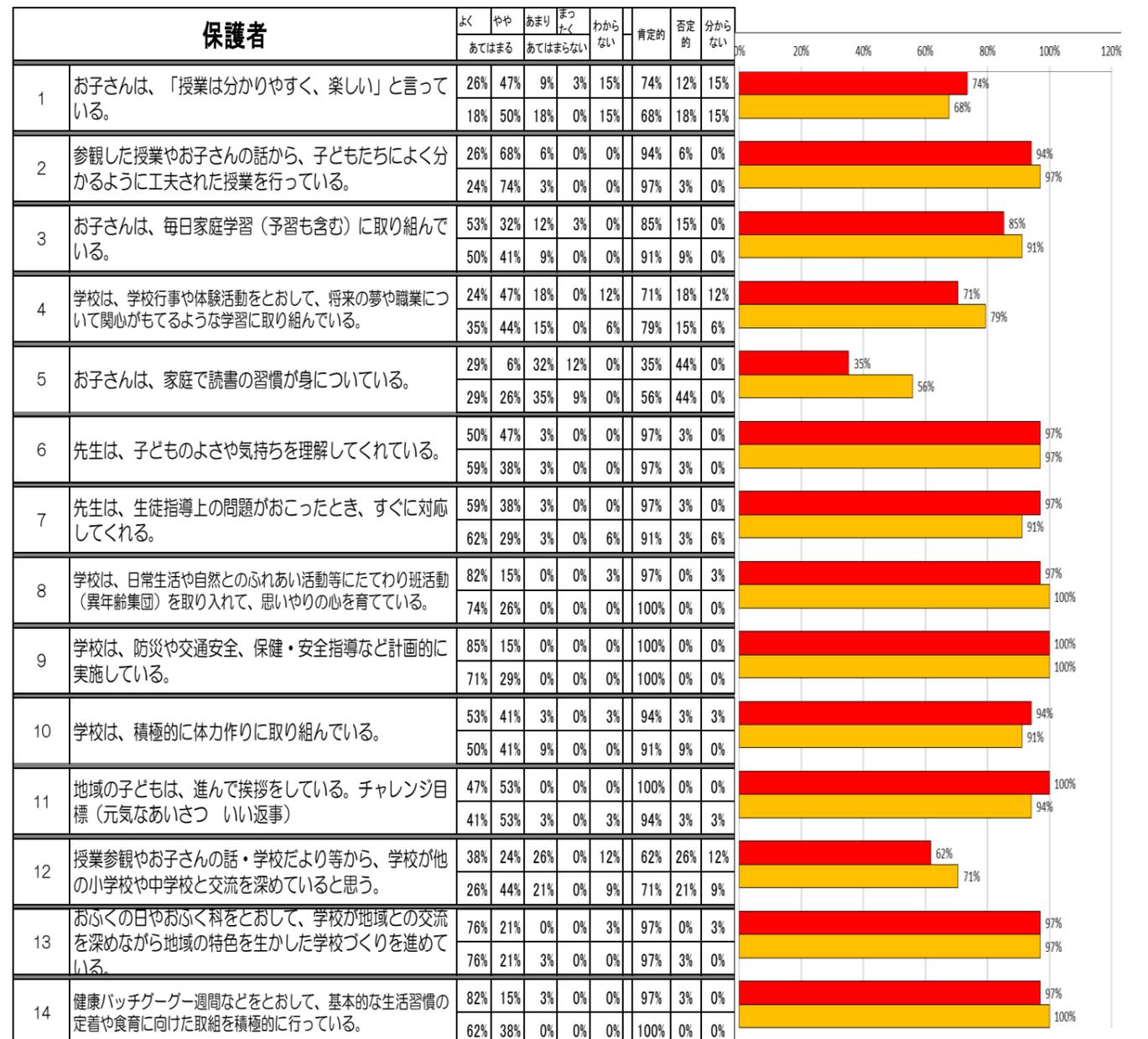
【児童の結果】

全体的に前期（1回目）を上回る項目が多く見られます。特に課題であった「1、授業は分かりやすく、楽しい」「2、分かりやすい授業がふえた」「6、先生は、自分を分かってくれる」で前期を上回る結果が出ています。これは、「わかる・できる」授業を目指して取り組んできた授業改善の取組（板書や発問、資料提示や教具の工夫）、また、「教職員全員が子ども34名の担任」を合言葉に日々児童理解に努めてきた成果と考えます。しかし、「2、分かりやすい授業がふえた」で「まったくあてはまらない」と回答している児童も3%います。引き続き教職員による研修を心がけ、肯定的な意見が100%になるように授業改善を続けてまいります。

一方、「3、毎日、家庭学習に取り組んでいる」「4、自分のめあてを決めてがんばっている」「5、読書の習慣」「14、進んで発表したり、人の話を聴いたりしている」が前期を下回っています。全校体制で取り組んできた家庭学習課題の工夫や読書活動の奨励、児童主体の授業づくり等の継続的な取組を続けていきたいと考えます。また、今回、「12、「おふくの日」や「おふく科」の授業の中で・・・地域の人から学ぶことができた」が100%、「13、・・・自分が住んでいる地域が、ますます好きになった」が94%と前期を上回っており、「おふく科」を中心とした地域の特色を生かした学習や学校づくりが児童の「ふるさと於福」を愛する心につながっていると考えます。

引き続き、地域の皆様、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

2 保護者の結果

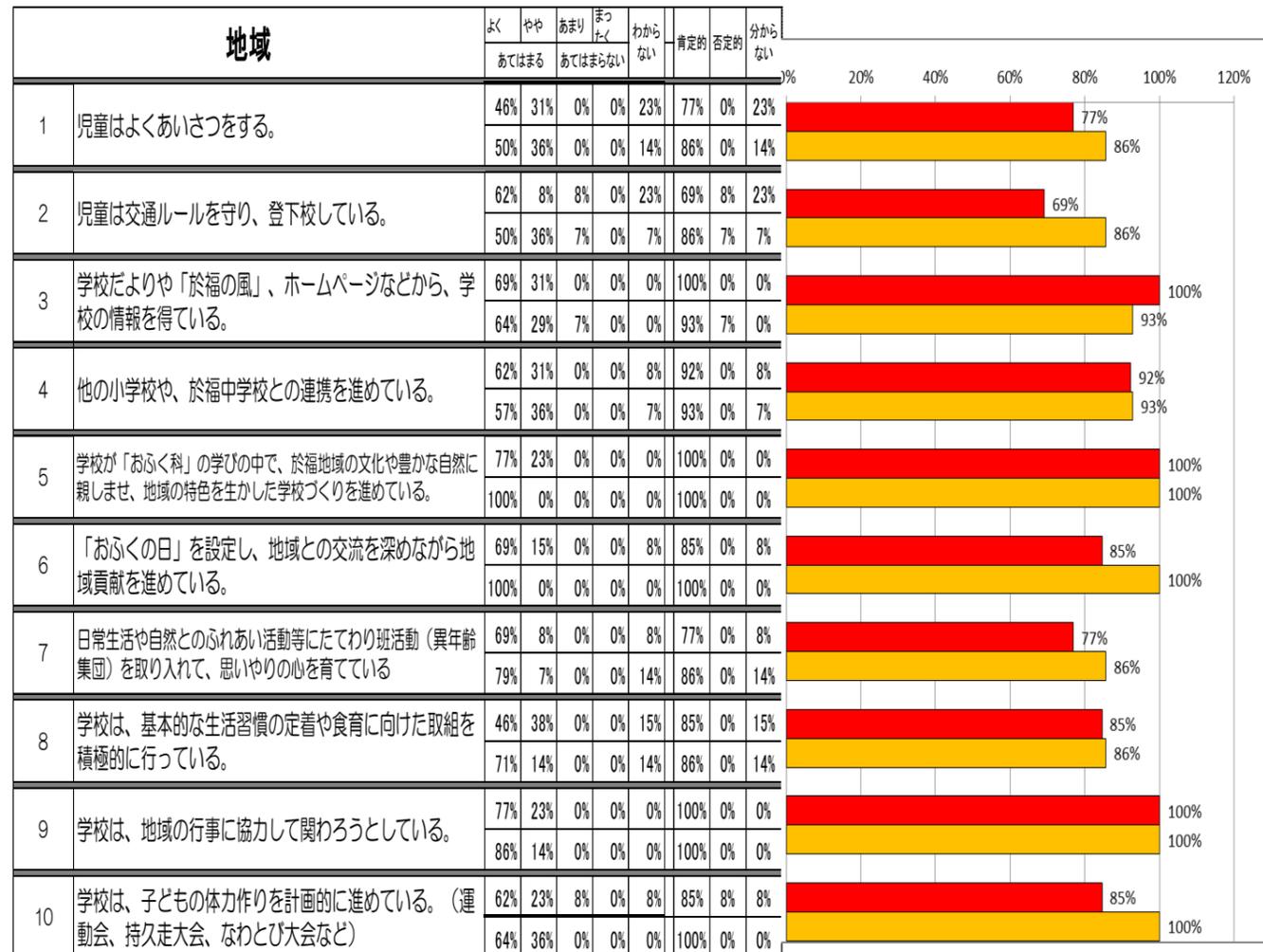


【保護者の結果】

「3、お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいる」が10%、「5、お子さんは、家庭で読書の習慣が身についている」が20%前期を上回っていますが、まだまだ十分な結果とは言えません。今後も家庭学習の課題の工夫や「うち読ウィーク」の効果的な取組方法を考えていきます。

また、『1、お子さんは、「授業は分かりやすく、楽しい」と言っている』は、児童の97%が「肯定的であるにもかかわらず、68%と低く、前期を6%下回っています。子どもたちが、ご家庭で「今日の勉強はよくわかって楽しかった。」と話題にできるような授業がもっと増えるよう、授業改善と校内研修の充実に取り組んでまいります。

3 地域の方の結果



【地域の方の結果】

ほとんどの項目で高い評価をいただいています。学校に足を運んでいただくだけでなく、地域の中で子どもたちの姿にしっかりと目を向け、声をかけていただいているおかげだと思います。ありがとうございます。引き続き「おふく科」の取組を推進し、地域の特色を生かした学校づくりを目指すとともに、地域貢献に努め、「地域の中の学校」として取り組んでまいります。

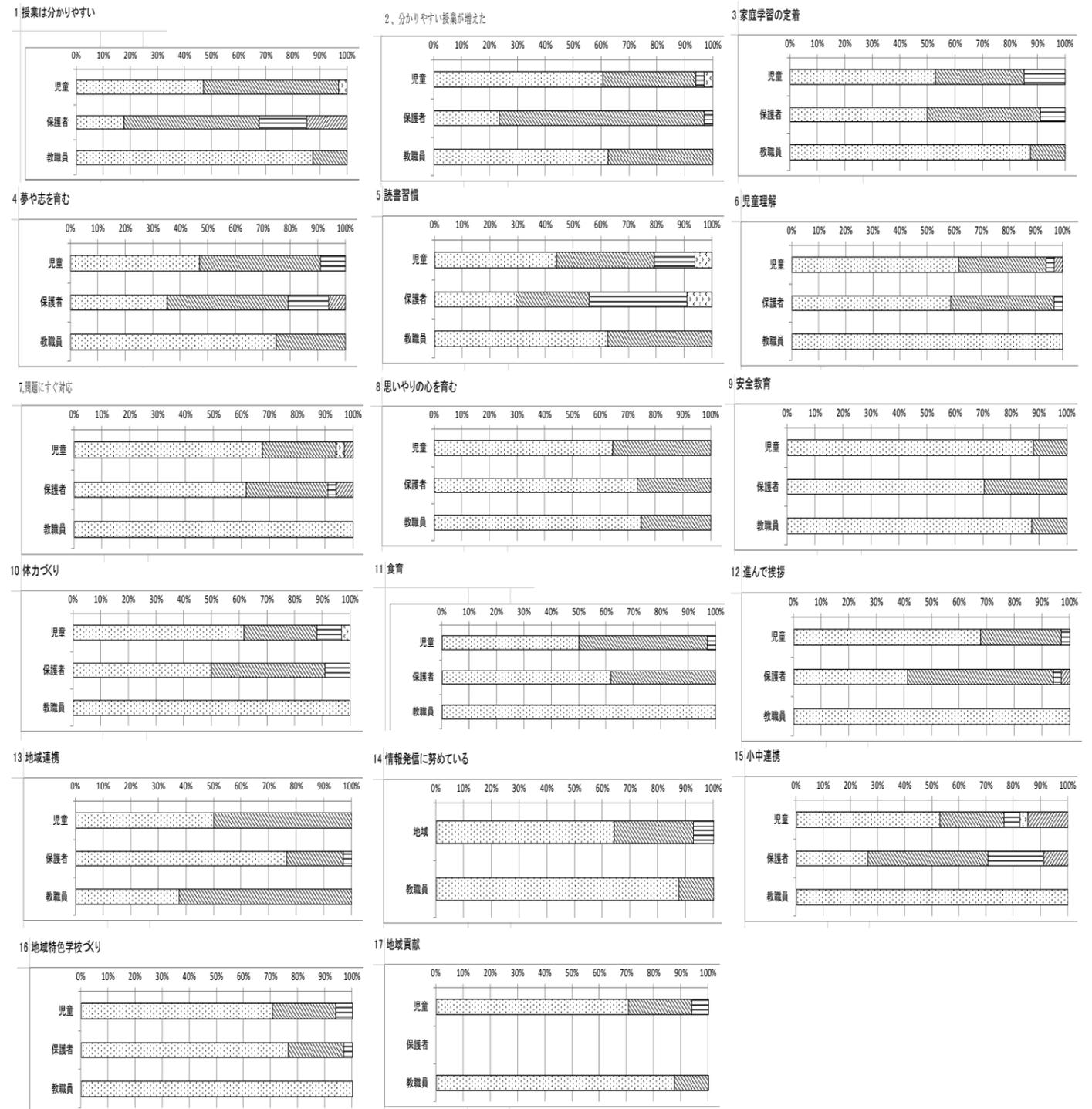
また、これまで滞っていたホームページを3月までに更新します。地域の皆様に、於福小学校の取組をもっと知っていただくことができるよう努めてまいります。

【保護者の声（一部抜粋）】

- 地域との連携・交流で子どもたちは様々なことを経験させていただき感謝しています。保護者も地域の方と一緒に子どもたちと何かできたらいいのかなと思いました。
- ①の項目は、あまり気づきにくい内容だと思います。子どもから「今日の授業は分かりやすく楽しかった。」となかなか言わないのでは・・・
- 子どもも先生も多忙すぎると思います。本当の意味での、心の土壌づくりができればと思います。

4 H29年度後期の児童・保護者・教職員の結果比較

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない わからない



【結果比較】

前期同様、ほとんどの項目で、児童、保護者、教職員ともに肯定的な評価が80%を上回っていますが、「5、読書習慣」「15、小中連携」については、児童、保護者とも80%を下回っており、まだまだ大きな課題と捉えています。2月22日に開催される小中合同拓大宇校運営協議会の中で効果的な取組方法などを協議していきたいと考えています。

学校評価にご協力いただき、有り難うございました。今後も成果の維持、課題の解決に向けて全教職員でチーム於福として取り組んでいきます。